

どうして「人権」は権利なのか？

ーグローバル時代における Human Rights という挑戦ー

◆日時：2015年11月6日（金）15時10分～18時20分

◆場所：西宮上ヶ原キャンパス 図書館ホール

<開催趣旨>

「人権」とは“Human Rights”の訳語である。そんなことはだれもが知っている事実かもしれない。でも、いったいどのくらいの人が、それが Right=権利であることの意義をしっかりと考えたことがあるだろうか。

「人として認められる」ことを「権利」として勝ち取るために、これまでの歴史のなかでどれだけの時間と労力が費やされ、そしてどれだけの命が賭けられてきたのだろうか。いま現在「人権の時代」に生きるわたしたちは、「権利としての人権」の意義をはたしてどのくらい自覚し、体感し、実践しているのだろうか。

本シンポジウムでは、関西学院大学人権教育研究室の活動を振り返りながら、「権利」という観点／理念／実践から「人権」を考えることの意義について考える。そのうえで、今後さらなるグローバル化のもとでの「権利としての人権」という挑戦に突きつけられた課題と可能性を展望する。

「人権」という言葉が社会のさまざまな場面で語られる今だからこそ、それがそもそも「どのような権利なのか？」を考えてみよう。

◆基調報告：

「権利としての人権：社会変革と社会秩序の狭間で」

川村 暁雄 人権教育研究室室長・人間福祉学部教授

◆コメンテーター：

マイノリティ支援と権利 武田 文 人権教育研究室副室長・人間福祉学部教授

国際機構と権利 望月 康恵 人権教育研究室委員・法学部教授

障害者運動と権利 佐藤 聡 DPI（障害者インターナショナル）日本会議

◆司 会： 阿部 潔 人権教育研究室委員・社会学部教授

お問い合わせ

関西学院大学人権教育研究室

TEL：0798-54-6720 E-mail：masahi@kwansei.ac.jp

一般公開・参加無料

手話通訳による情報保障を予定